

令和7年度

事業報告書

公益財団法人東広島市教育文化振興事業団

Ⅲ 理事会等の開催状況

年 月 日 等	議 決 及 び 報 告 事 項
令和7年4月1日	令和7年度第1回評議員会（書面決議） 議案第1号 理事の選任について
令和7年5月13日 出席理事 9名 欠席理事 1名 出席監事 2名	令和7年度第1回理事会 議案第1号 令和6年度事業報告及び収支決算について 議案第2号 定時評議員会の招集について 報告第1号 令和7年度事業団組織体制について 報告第2号 令和7年度生涯学習の推進体制について
令和7年6月3日 出席評議員 5名 出席監事 2名 出席理事 3名	令和7年度定時評議員会（第2回評議員会） 報告第1号 令和6年度事業報告について 議案第2号 令和6年度計算書類等の承認について 議案第3号 評議員の選任について 議案第4号 理事の選任について 議案第5号 評議員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について 報告第2号 令和7年度事業計画及び収支予算について 報告第3号 令和7年度事業団組織体制について
令和7年6月4日	令和7年度第2回理事会（書面決議） 議案第3号 常務理事の選定について
令和7年10月21日 出席理事 9名 欠席理事 1名 出席監事 2名	令和7年度第3回理事会 報告第3号 今後の事業展開について（協議） 報告第4号 資金の運用状況について 報告第5号 職務執行状況報告について
令和8年3月18日 出席理事 10名 出席監事 2名	令和7年度第4回理事会 議案第4号 令和8年度事業計画及び収支予算について 報告第6号 職務執行状況報告について

年 月 日	監 査
令和7年5月8日	令和6年度 監査

IV 事業概要

基本方針

東広島市における教育、文化、芸術の振興及びスポーツの振興に関する事業を行い、もって心豊かで潤いと活力に満ちた市民生活の向上に寄与することを目的として次の事業を行いました。

『公益目的事業』

■ 東広島市における教育文化芸術の振興及び国際化の推進に関する事業（公1）

1 自主企画事業

文化・学習センターの各ホール等を活用し、北部・中部・南部の地域特性を活かした自主企画事業を実施し、市民の文化芸術活動支援と交流促進、文化振興を図りました。

事業名	事業内容等
オペラティックコンサート【新】	内容：演劇と解説を交えたオペラ公演を開催し、市民参加で魅力を発信 場所：黒瀬生涯学習センター セセラギホール 開催日：4月26日（土） 参加者：250人
地域の輪・和を作ろう～安芸津音頭～【新】	内容：文化連盟との連携により、安芸津音頭の継承者を通じて郷土愛を育む 場所：安芸津生涯学習センター 万葉ホール 開催日：7月27日（日）・8月2日（土） 参加者：83人
ベヒシュタインを弾く会	内容：市民にベヒシュタインピアノの演奏機会を提供し音楽文化の振興とホール活用を促進 場所：市民文化センター アザレアホール 開催日：8月4日（月） 参加者：33人
親子創作教室（折り紙建築親子教室） （近畿大学工学部連携事業）	内容：親子で折り紙建築の創作体験を行い創造力と絆を育む機会を提供 場所：市民文化センター アザレアホール 開催日：7月20日（日） 参加者：60人（親子30組）
東広島市中学校合同美術展	内容：中学生の美術作品を展示し創作意欲向上と地域の文化振興を図る 場所：芸術文化ホール 市民ギャラリー

	<p>期間：8月6日（水）～18日（月）※13～15日休館 来場者：2,070人</p>
<p>Jr.学芸員が作った豊栄博物館【新】</p>	<p>内容：小中高校生が広島大学の標本などを活用し展示を作成、Jr.学芸員として展示解説も行う 場所：豊栄支所 期間：8月3日（日）～30日（土） 来場者：754人</p>
<p>観月会（篠笛演奏等）</p>	<p>内容：観月会で邦楽公演を実施し和文化の普及と継承を推進 場所：市民文化センター アザレアホール 開催日：9月28日（日） 来場者：252人</p>
<p>子どもと大人が楽しむクリスマスコンサート【新】</p>	<p>内容：地元演奏者等に発表機会を提供し音楽文化の活性化を図る 場所：豊栄生涯学習センター アゼイリアホール 開催日：12月14日（日） 参加者：318（内、オンライン232）人</p>
<p>大学と連携したシンポジウムの開催 （広島国際大学連携事業）</p>	<p>内容：若者のつながりとウェルビーイングを考えるシンポジウムを開催 場所：芸術文化ホールくらら 小ホール 開催日：1月31日（土） 参加者：115人</p>
<p>響筆～音楽と書のコラボレーション～【新】</p>	<p>内容：音楽と書の共演による芸術表現の魅力発信と文化振興 場所：市民文化センター アザレアホール 開催日：2月1日（日） 参加者：143人</p>
<p>フレッシュコンサート （広島大学連携事業）</p>	<p>内容：広島大学講師・学生の協力でコンサートを開催し、市民の芸術文化の啓発・発展に寄与 場所：市民文化センター アザレアホール 開催日：2月28日（土） 来場者：153人</p>
<p>オオサンショウウオ保全 Jr.クラブ活動発表会【新】</p>	<p>内容：クラブで活動する小中高校生が一年間の研究・活動の成果を発表 場所：豊栄生涯学習センター アゼイリアホール 期間：3月29日（日） 来場者：120人</p>

2 文化活動支援事業（文化・学習センターの一体的な管理・運営）【拡】

文化・学習センターを一体的に管理運営し、多様な生涯学習機会の提供や地域課題解決に資する実践的な学びの推進、文化振興と交流促進、市民参加と協働の推進を総合的に図りました。

(1) 学習機会の充実

多世代にわたる学びの機会の提供など市民のニーズに応じた多様な分野の学習支援を通じて、生涯学習環境の充実を図りました。

事業名	開催期間	回数	参加者数 (延べ)
市民文化センター	通 年	49	896 人
黒瀬生涯学習センター	通 年	58	850 人
豊栄生涯学習センター	通 年	64	781 人
安芸津生涯学習センター	通 年	19	289 人
計		190	2,816 人

(2) 地域課題の解決につながる学びの推進

地域課題解決型プログラムの提供や学習成果の地域活動への活用を推進し、実践的な学びによる地域づくりへの参画を促進しました。

事業名	開催期間	回数	参加者数 (延べ)
東広島熟年マイスター教育講座	10月～3月	36	416 人
広島大学マスターズ市民講座	5月～2月	20	269 人
市民企画講座	11月～2月	6	78 人
計		62	763 人

(3) 地域文化の振興とシビックプライドの醸成

地域文化の継承と発展、またその発信と交流を推進し、地域の魅力再発見と文化交流の促進を図りました。

事業名	開催期間	回数	参加者数 (延べ)
オオサンショウウオ保全J rクラブ (市民文化センター)	通 年	23	380 人

オオサンショウウオ保全J rクラブ (豊栄生涯学習センター)	通 年	24	297 人
オオサンショウウオ保全J rクラブ (フィールドワーク)	通 年	29	319 人
自分で作る博物館プロジェクト	6 月～8 月	8	152 人
ポスター作りやカードゲームで 学ぶオオサンショウウオ！	8 月	2	51 人
賀茂北高生がガイド！オオサン ショウウオ調査体験！	11 月 2 日 (日)	1	17 人
豊栄オオサンショウウオ検定	11 月 23 日 (日)	1	38 人
化石クラブ	2 月～3 月	2	43 人
東広島こどもミニ万博	10 月～2 月	10	113 人
オンライントークイベント 「てい先生に学ぶ魔法の子育て術」	10 月 19 日 (日)	1	68 人
さくらフェスタ 2026	3 月 29 日 (日)	1	約 800 人
福富中学生プレゼンツ歴史ウォーク 過去を歩こう！時を超える冒険へ	10 月 2 日 (木)	5	82 人
河内こども図書館・出土文化財管理セ ンター連携～君も考古学者～	8 月 2 日 (土)	1	10 人
のどを自慢しよう大会 in 安芸津	11 月 9 日 (日)	1	約 350 人
安芸津魅力発見講座	11 月～3 月	7	110 人
計		116	約 2,830 人

(4) 市民参加と協働の推進

市民が参加しやすい学習活動の推進や地域団体やボランティアとの連携強化を図り、市民主体の学びと協働による地域活性化を推進しました。

事業名	開催期間	回数	参加者数 (延べ)
人材バンクマッチング交流会	12 月 17 日 (水)	1	57 人
ボランティア研修会	2 月 14 日 (土)	1	49 人
計		2	106 人

(5) 利用者ニーズに応じた安全・安心な施設運営と利用促進

誰もが利用しやすい施設運営や安全対策、リスクマネジメントの徹底、利用者ニーズの反映により、利用者数及び利用料金の増加につながる施設運営を実施しました。

ア 市民文化センター

単位：円・人

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利 用 料 ※令和6年度までは使用料	4,491,670	3,921,845	6,174,770
利用者数	43,777	47,122	48,290

イ 黒瀬生涯学習センター

単位：円・人

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利 用 料 ※令和6年度までは使用料	5,022,420	4,398,525	467,820
利用者数	86,274	88,998	32,798

※令和7年度は改修工事のため、4月～7月のみ開館

ウ 豊栄生涯学習センター

単位：円・人

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利 用 料 ※令和6年度までは使用料	774,130	814,060	492,220
利用者数	5,874	7,918	8,170

エ 安芸津生涯学習センター

単位：円・人

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利 用 料 ※令和6年度までは使用料	1,921,990	1,617,450	1,451,880
利用者数	22,635	20,158	25,475

計

単位：円・人

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利 用 料 ※令和6年度までは使用料	12,210,210	10,751,880	8,586,690 (3,033,010) 11,619,700
利用者数	158,560	164,196	114,733

・令和7年度の利用料の（ ）内は、令和6年度中に令和7年度利用に係る文化・学習センターの利用料金として市に入金された金額で、その下段の金額は総額

3 文化芸術活動コンシェルジュ事業

文化芸術活動の活性化を目的に、相談業務や情報提供、広報を通じて市民の学びと実践を結び付け、参加促進と理解向上を図りました。

区 分	時 期	件数等
窓口相談業務 内容:文化芸術活動の情報提供と相談を通じ参加促進と活性化を図る 場所:芸術文化ホールくらら 小ホール前 時間:毎週木曜日 10:00~15:00	通 年	331 件
情報発信:note 発信数 :note 閲覧数	通 年	42 件 4,521 件
相談者とアーティスト等とのマッチング	通 年	15 件

4 美術館運営事業（美術館コンサルティング事業）

市立美術館の収蔵作品の展示や全国規模の巡回展の開催など、様々なテーマの展示公開（特別展等）の実施、体験学習や教育普及を図るなど地域の芸術文化振興のため幅広い活動を展開しました。

（1）展覧会

計画的な展示企画・運営を通じて、収蔵作品の展示や地域の文化資源を活かした企画展を実施しました。

ア コレクション展

事業名	事業内容等
第Ⅰ期 アートと素材－2つの 「素材」からみる作品 たち	内容：芸術作品の「素材」にスポットを当て、絵画や版画、工芸作品を展示。令和6年度の新収蔵作品もあわせて展覧した。 会期：令和7年4月12日（土）～6月22日（日） 入場者：延べ1,357人
第Ⅱ期 水と表現の交差点－絵 画と版画を中心に	内容：同時期に開催した「富田伊織 新世界『透明標本』展」に関連して、“水”をキーワードとして絵画と版画を中心に展示した。 会期：令和7年6月28日（土）～10月5日（日） 入場者：延べ22,820人
第Ⅲ期 part1 イマジンHiroshima－被 爆80年の想像力	内容：令和7年は広島に原爆が投下されて80年の節目の年。当館蔵の作品と館外から借用した作品とを展示し、原爆に対する美術家たちの想像力の在り処を辿った。 会期：令和7年10月16日（木）～11月24日（月・休） 入場者：延べ1,963人
第Ⅲ期 part2 生誕100年 日本画家・ 其阿弥赫土－幽深なる 自然と対峙する	内容：令和7年は日本画家・其阿弥赫土の生誕100年にあたる。1993年より東広島黒瀬町を制作の拠点とし生涯を終えた、本市とも関わりのある郷土ゆかりの作家のひとりである。郷土ゆかりのコレクションに親しむ機会として、特集展示した。 会期：令和7年10月16日（木）～12月27日（土） 入場者：延べ2,660人

イ 特別展

事業名	事業内容等
富田伊織 新世界『透明標本』展	<p>内容：富田伊織は北里大学水産学部在学中に研究用の透明骨格標本に魅せられたことから独自に制作を始め、卓越した技術によって生み出される透明標本は芸術的表現まで高められている。生き物の洗練された造形や幻想的な色彩の美しさを際立たせる空間展示。</p> <p>会期：令和7年7月10日（木）～10月5日（日） 入場者：延べ28,691人</p>
ポップ・アート 時代を変えた4人	<p>内容：1960年代のアメリカを中心に広まった「ポップ・アート」。ロイ・リキテンスタイン、アンディ・ウォーホル、ロバート・ラウシェンバーグ、ジャスパー・ジョーンズの4人を中心に、日本初公開となるホセリス・ルペレス氏のコレクションからなる約120点に及ぶ版画、ポスター、服飾を通じてポップ・アートの世界を展覧。</p> <p>会期：令和8年2月5日（木）～3月29日（日） 入場者：延べ7,289人</p>
第38回東広島市美術展	<p>内容：絵画・書・彫刻・工芸・写真・デザインの6種目の芸術分野について、広く市民の方々から美術作品を公募し展示。</p> <p>会期：令和8年1月10日（土）～1月25日（日） 入場者：延べ2,228人</p>

(2) その他学芸業務

ア 教育普及事業

事業名	事業内容等
どこでも美術館	<p>内容：芸術文化に対する関心を高めることを目的に、学芸員が学校に出向き、鑑賞教材を用いて生徒に鑑賞の機会を提供。</p> <p>参加校数：1校（実施回数2回）</p>
はじめてビジュツカン	<p>内容：市内の小学校4年生を美術館に招待し、美術館での過ごし方や美術の魅力の実体験。</p> <p>参加校数：25校</p>

イ その他

児玉 正美氏から寄贈を受けた屋外彫刻作品を西条中央公園に設置した。

5 コミュニケーションコーナー運営事業

外国人市民の生活支援として多言語による相談業務を行うとともに、行政・生活情報等の提供を行うことで、外国人市民が心豊かに安心して暮らせるようコミュニケーションコーナーの運営を行いました。

- (1) 交流および学習スペースである「コミュニケーションコーナー」の運営
 毎日 8:30～20:00 (年末年始・清掃日休館)

ア 過去3年間の来館者数推移

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
来館者数	8,169人	8,856人	9,060人

下記イの相談窓口利用者を含む

イ 相談窓口利用人数(言語別)

対応言語	曜日	時間	相談人数	相談内容
英語	月～土	9:00～17:00	1,059人	くらし一般、日本語教育関連、医療、国際交流ボランティアに関するものなど
ポルトガル語	水・土	9:00～13:00	314人	
中国語	火 日	9:00～13:00	62人	
		13:00～17:00		
ベトナム語	木 日	9:00～13:00 13:00～17:00	29人	
*日本語	月～日	9:00～17:00	799人	
**その他	月～日	9:00～17:00	5人	
計			2,268人	前年比423人減

*「日本語」には日本人の相談を含む。主に、ボランティア活動について。

**言語区分「その他」については、翻訳アプリを使用して対応。

- (2) 情報提供事業

相談員が市民に役立つ情報を多言語で公式ホームページのブログおよびSNSにてほぼ毎日配信。

- (3) 弁護士による外国人無料相談の受付および同行通訳(予約制 各月実施)

実施件数：8件(英語3件、ポルトガル語1件、日本語/通訳不要4件)

- (4) 日本語教材等の図書の貸し出し、ランドセル等中古学用品の提供

ランドセル：市民からの寄付50個(前年度分含む)、外国籍児童への提供29個

6 国際化推進事業

外国人市民も含め誰もが地域社会の一員として心豊かに安心して暮らすことができる多文化共生社会の形成を目指して、国際化、国際交流の推進、外国人市民の生活支援等の事業を行いました。

(1) 国際化啓発・文化交流事業

国際理解と文化交流を深めるため、日本人市民と外国人市民双方を対象とした体験型プログラムを実施。外国人日本語スピーチコンテストにおいても、発表者と来場者が関わることでできる機会を作りました。

日本伝統文化体験講座【拡】および国際交流イベント

事業名	事業内容等
書道体験講座	内容：書道の道具や基本的な筆使いを習い、作品を制作。広島県立賀茂高等学校書道部と国際交流ボランティアの協力。 開催日：6月14日（土） 場所：市民文化センター 研修室 参加者：21人（外国人10人、賀茂高校書道部5人、ボランティア6人）
ゆかた着付け体験講座	内容：着付けのできる国際交流ボランティアから1対1で着付けを習い、着付けを体験。 開催日：7月13日（日） 場所：市民文化センター 日本間 参加者：18人（外国人10人、日本人3人、ボランティア等5人）
茶道体験講座	内容：茶道の歴史や道具について学び、講師陣の指導のもと、お点前を体験。 開催日：12月6日（土） 場所：市民文化センター 研修室 参加者：29人（外国人15人、日本人7人、講師陣6人、ボランティア1人）
2025 東広島国際フェスタ（展示）	内容：パネルクイズの実施、国際化推進事業および事業団の活動写真の展示、講座および教室の紹介チラシの設置。 開催日：10月26日（日） 場所：西条中央公園 ブース訪問者：約100人
第22回東広島市外国人日本語スピーチコンテスト	内容：外国人発表者が日本での体験や日常生活の中で感じていることをスピーチ。来場者参加

	<p>型の会の実施（クイズタイム、観客賞）。</p> <p>開催日：11月9日（日）</p> <p>場所：市民文化センター アザレアホール</p> <p>発表者：10人 来場者：91人</p>
--	--

(2) 外国人生活支援事業

外国人市民のコミュニケーション能力を高め、地域社会へ積極的に参加できるよう、日本語教育や学習支援（小中高生対象）を実施しました。

ア 日本語教室ひがしひろしま【拡】

クラス	曜日	期間	時間	場所	回数	受講者数(延べ)
にほんごⅠ	木曜日	4月～2月	19:30～21:00	研修室	30回	263人
にほんごⅡ						265人
にほんごⅢ						207人
にほんごⅠ	日曜日		10:00～12:00		30回	591人
にほんごⅡ						262人
にほんごⅢ						216人
にほんごⅣ		304人				
特別講座		5月25日	10:30～11:30		1回	42人
オンライン	火曜日	2月～3月	10:00～11:30		8回	72人
計					69回	2,222人

※5/25(日)にほんご教室の中で 特別講座として交通安全講座を実施

イ にほんごわいわい(おしゃべり型日本語教室)

場所	曜日	時間	期間	回数	受講者数(延べ) ボランティア数(延べ)
市民文化センター	日曜日	13:00～ 14:30	5月～3月	30回	378人 291人
市民文化センター	水曜日	19:00～ 21:00		30回	294人 260人
八本松地域センター	土曜日	10:00～ 12:00		30回	56人 100人
黒瀬生涯学習センター	日曜日	14:00～ 16:00		30回	154人 148人
安芸津 B&G 海洋センター	金曜日	18:30～ 20:00		30回	124人 62人
計				150回	1,006人 861人

ウ One-to-One にほんご (1対1で日本語を用いて会話)

区 分	登録人数	活動ペア数
外国人活動希望者	83人 (新規 35人)	49組 (新規 25組)
日本人ボランティア	79人 (新規 22人)	

エ にほんごひろばU-18(小中高生対象教育支援事業)

場所	曜日	時間	期間	回数	受講者数 (延べ) ボランティア数 (延べ)
市民文化センター	水曜日	16:00~ 19:00	4月~3月	35回	561人 112人
	土曜日	10:00~ 12:00		36回	881人 267人
計				71回	1,442人 379人

オ その他の教育支援事業 (にほんごひろばU-18参加者等対象)

事業名	事業内容等
お楽しみ会	内容：子ども同士、支援者とのつながりの創出。 JICA 中国インターンシップ生の協力。 開催日：8月30日 (土) 11:00~12:00 場所：市民文化センター アザレアホール 参加者：43人 (外国人 34人、ボランティア 9人)

カ 中国帰国者日本語教室開催業務

中国帰国者のための日本語教室を開催しました。

場所	曜日	時間	期間	回数	参加者数 (延べ) (うち受講者人数)
御蘭宇地域センター	火曜日	14:00~ 16:00	通年	42回	304人 (187人)
御蘭宇地域センター	金曜日	14:00~ 16:00		40回	227人 (181人)
計				82回	531人 (368人)

キ 多言語広報メール配信サービスおよびオンライン掲載

内容：広報「ひがしひろしま」の抜粋記事を英語、中国語、ベトナム語に翻訳したものを毎月、また、行政手続き等の重要な情報を年4回、希望者 (登

録者) にメールにて配信した。広報「ひがしひろしま」の翻訳版は、コミュニケーションコーナーホームページおよびFacebookに掲載しました。

※令和8年3月末時点メール配信登録者数：

英語版 229 人、中国語版 178 人、ベトナム語版 10 人

ク 東広島市立小・中学校通訳・支援員派遣事業

学校からの依頼に応じて（市教委 指導課経由）、通訳者を派遣しました。

通訳派遣実績

対象校	対応言語	依頼回数	延べ人数
東広島市立小学校	英語	41 回	176 人
	中国語	36 回	90 人
	アラビア語	10 回	14 人
	ロシア語	2 回	2 人
	ベトナム語	4 回	7 人
東広島市立中学校	英語	7 回	10 人
	中国語	4 回	4 人
	インドネシア語	1 回	1 人
計		105 回	304 人

※依頼回数＝派遣通訳者数(延べ)、延べ人数＝通訳を必要とした保護者の数

(3) 国際交流ボランティアの育成

地域の国際交流を支えるボランティアを育成し、活動の機会を提供しました。

ア 国際交流ボランティア登録者数と令和7年度活動実績

「東広島市国際交流ボランティア」の募集および登録受付を通年実施

令和8年3月末時点登録者数 573 人（うち令和7年度新規登録者 95 人）

活動分野別活動実績

活動分野	主な内容	活動人数(延べ)
通訳・翻訳	小中学校における通訳	105 人
文化紹介	文化体験講座にて協力	11 人
日本語指導	教室および One-to-One にほんご	1,363 人
教育支援	にほんごひろば U-18	379 人
事業協力	ボランティア講習会参加	58 人
計		1,916 人

イ 国際交流ボランティア講習会

事業名	事業内容等
第1回 講習会 「東広島で国際交流ボランティア」	内容：東広島市の外国人市民の現状や国際交流ボランティアの活動内容の学習。現役ボランティアによる体験談の紹介と質疑応答。 開催日：6月1日（日） 場所：市民文化センター 研修室 参加者：40人（うち一般参加者28人）
第2回 講習会 「“やさしいにほんご”を楽しもう！」	内容：外国人協力者2人に母語で話してもらい、日本語がわからない外国人市民の気持ちを体験。やさしいに日本語について理解。 開催日：7月6日（日） 場所：市民文化センター 研修室 参加者：19人（うち一般参加者4人）
第3回 講習会 「はじめてのニホン語～学習者と考える外国語としての日本語文法～」	内容：学習者の誤用を通して外国語としての日本語文法を考えた。 開催日：10月4日（土） 場所：市民文化センター 研修室 参加者：50人（うち一般参加者13人）

(4) 地域多文化共生の推進

地域住民が国際交流に参加できる環境を整えるため、住民自治協議会含む地域団体主催のイベント等へ協力や協議・ヒヤリングを通して連携強化に努めた。

ア 住民自治協議会との連携

団体名	支援内容等
龍王住民自治協議会	自治協が主催する「龍王夏まつり」（7月26日（土）、於：龍王小学校グラウンド）において、ステージ発表をする外国人を紹介。過去5年間、事業団職員が伴走する形で国際交流イベントを行ってきたが、事業団職員の関わりを限定的にとどめ、自治協メンバーにより主体性をもって外国人市民と関わってもらうよう努めた。
八本松住民自治協議会	自治協が開催する「八本松夏盆踊り大会」（8月10日（日））において、出店する外国人市民を紹介。昨年度は、出店の調整までこちらが行ったが、今年度は、自治協メンバーにより主体的に関わる体験をしていただく必要性を感じ、出店にいたるまでの調整を自治協に行っ

	てもらった。さらに、ステージ発表をする留学生を紹介した。
中黒瀬住民自治協議会	黒瀬で開催している「にほんごわいわい」を地域の日本人と外国人が知り合う場と位置づけるなかで、住民自治協議会の会議で、話をする機会を得、回覧版による教室の広報協力、教室や外国人市民に関する質問や心配事について意見交換することができた。

イ その他団体との連携例

団体名	支援内容等
安芸津生涯学習センター	令和7年度より、事業団管理となった当施設にて、学びコーディネーターとともに、外国人市民も気軽に参加できるスポーツイベントを開催。チラシ作成や広報を行い、イベント当日も協力した。2回実施し、各回、日本人数名、外国人20名弱参加。
社会福祉協議会	社会福祉協議会主催のイベントに、より多くの外国人を呼び込む方法について相談を受け、やさしいにほんご版のチラシを作成。また、学びコーディネーターとともに、イベントの内容についても提案を行い、当日も運営に協力した。
御菌宇サロン レインボー	社会福祉協議会より県営御菌宇住宅にて開催されているサロンに関する相談を受け、サロンを訪問。当住宅に住む外国人が孤立している様子を聞いたので、外国人住民に、まずは、近隣で開かれるイベントへの参加を促し、サロンへも参加できるようにした。サロン主催者ともつながることができた。

(5) その他（外部団体からの事業協力依頼や視察依頼の受け入れ）

依頼項目	主な依頼団体
中学生職場体験	東広島市立中央中学校（生徒2人）
施設見学	東広島市立龍王小学校（3年生180人）
インターシップ生受け入れ	国際協力機構中国センター（JICA）（3人）
	市役所市民生活課（2人）
	広島大学教育学部日本語教育系コース（50人）
出張講義	広島大学
	近畿大学附属高等学校東広島校
	ダイキョーニシカワ（株）

■ 東広島市におけるスポーツ教室の開催等スポーツ振興に関する事業（公2）

1 体育施設運営事業

東広島市の公の施設における指定管理者として、東広島市黒瀬・安芸津B&G海洋センター及び黒瀬屋内プール、黒瀬市民グラウンド、安芸津市民グラウンド、黒瀬多目的グラウンド体育施設の適正かつ効果的な管理運営を行い、スポーツ振興の拠点となるよう、利用の促進を図りました。

◆黒瀬B&G海洋センター 単位：円・人

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
使用料	1,616,090	1,539,840	1,796,560
利用者数	23,105	23,331	29,084

◆安芸津B&G海洋センター 単位：円・人

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
使用料	3,432,640	1,884,660	3,756,810
利用者数	41,744	27,268	41,653

◆黒瀬屋内プール体育施設 単位：円・人

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
使用料	7,397,080	7,930,440	8,441,650
利用者数	55,815	61,185	63,487

◆黒瀬市民グラウンド体育施設 単位：円・人

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
使用料	589,660	542,520	617,840
利用者数	10,157	9,897	9,918

◆安芸津市民グラウンド体育施設 単位：円・人

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
使用料	298,070	277,980	277,160
利用者数	23,263	29,357	28,387

◆黒瀬多目的グラウンド体育施設

単位：円・人

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
使用料	298,030	227,460	157,890
利用者数	11,518	8,105	9,988

2 スポーツ振興事業

市民の健康の保持増進及びスポーツの振興を目的に、各種スポーツ教室等の企画・開催を行いました。

(1) 東広島市委託事業

事業名	事業内容等
スポーツ教室 ニュースポーツ教室	内容：誰でも気軽に楽しめるニュースポーツ（グラウンドゴルフ、ペタンクなど）の振興として開催。 場所：東広島運動公園、黒瀬、安芸津、道の駅福富 期間：前期4月～7月（12回）後期10月～2月（12回） 参加者：292人 延べ2,395人
生きがい健康体育大学	内容：健康に対する科学的な知識を学びながら、市や地域で行う健康づくり活動に協力できる人材を育成することを目的に開催。 場所：市民文化センター、道の駅福富等 期間：6月～11月（12回） 参加者：36人 延べ351人
アクアパーク チャレンジスポーツ	内容：市民に様々なスポーツを楽しんでいただくため、様々なスポーツ体験会を、スポーツの日記念行事として開催。 場所：東広島運動公園、黒瀬、シャープ体育館 開催日：10月13日（月） 参加団体：12団体 参加者：延べ839人
スポーツの普及及び 振興に関する事業 （指導者派遣）	内容：市内の各地域センター等に赴き、ニュースポーツの指導や体力測定、水辺の安全教室等を実施。 依頼団体：9団体 参加者：延べ269人
海洋クラブ活動【拡】	内容：事業団指導者（センターインストラクター）と地域指導者が連携し、カヌー・ヨット・SUP等が体験できる海洋性スポーツの普及促進事業。 場所：黒瀬B&G海洋センター艇庫 期間：6月～8月（10回） 参加者：延べ430人

B G 塾	<p>内容：夏休み期間に子どもたちに宿題などの学習と、海洋性スポーツや自然体験、運動など様々な体験活動を提供し、子どもたちの居場所づくりと子育て世代を支援する事業。</p> <p>場所：黒瀬・安芸津</p> <p>期間：7月～8月（両会場とも5日間）</p> <p>参加者：22人 延べ95人</p>
その他 スポーツ振興事業	<p>内容：健康アップ教室、初心者水泳教室、親子水泳教室、プールでカヌー体験会、SUP体験会、テニスクリニック等の各種講座を開催。</p> <p>場所：黒瀬・安芸津等</p>

(2) 自主企画事業

事業名	事業内容等
前期教室 (17教室)	<p>期間：4月～8月（9～13回）</p> <p>参加者：344人 延べ3,223人</p>
中期教室 (18教室)	<p>期間：9月～2月（9～14回）</p> <p>参加者：350人 延べ3,287人</p>
後期教室 (14教室)	<p>期間：1月～3月（10回）</p> <p>参加者：299人 延べ2,533人</p>
年間教室 (1教室)	<p>場所：黒瀬</p> <p>参加者：延べ847人</p>
<p>○開催教室【拡】</p> <p>東広島運動公園 : テニス（4教室）</p> <p>黒瀬屋内プール : アクアビクス、エアロビクス、はじめてのヨガ、ズンバ、週末はじめてのヨガ、ジュニアフロアリズムシェイプアップファイト</p> <p>黒瀬B&G : ピックルボール</p> <p>安芸津B&G : 健康運動、初心者ヨガ、きつず運動</p> <p>シャープ体育館 : 卓球、はつらつ元気運動</p> <p>郷田地域センター : リラックスヨガ</p>	

3 国民健康保険事業

健康・体力の維持向上に関する知識の習得と運動の習慣づけの支援を目的とした教室を開催しました。

事業名	事業内容等
健康増進運動教室 (2会場)	<p>内容：日頃体を動かす機会の少ない市民（40歳以上）を対象に、気軽に行えるウォーキングやニュー</p>

	<p>スポーツなどの実技や健康講座等を実施。</p> <p>場所：安芸津生涯学習センター・高屋東地域センター</p> <p>期間：9月～11月まで（両会場とも8回）</p> <p>参加者：51人 延べ347人</p>
--	--

4 黒瀬地域「健康・福祉と交流のまち」推進事業

黒瀬地域において、健康スポーツに関する事業等を展開し、地域住民の健康増進と交流の促進を図りました。

事業名	事業内容等
ウォーキングイベント 6回実施	<p>内容：黒瀬地域の住民の交流を目的とした市民交流型ウォーキング。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早朝ウォーク・日の出ウォーク ・さくらウォーク <p>広島国際大学との連携・支援を受けた地域交流型ウォーキング。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もみじウォーク・上黒瀬ウォーク <p>黒瀬高校生徒と福祉施設利用者の交流と健康増進を目的としたウォーキング。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉ウォーク <p>場所：黒瀬地域</p> <p>参加者：延べ742人</p>
健康チェック・ 体力測定会【拡】	<p>内容：地域住民の健康に対する意識向上を目的として、健康チェックや体力測定会を開催。</p> <p>会場：健康福祉まつり、フレイル測定会、中黒瀬農業祭</p> <p>参加者：延べ230人</p>

5 スポーツ情報啓発事業

東広島市の体育・スポーツ及びレクリエーションに関する資料の収集・調査研究並びに情報の提供などを行い市民スポーツに対する関心を高め、スポーツの普及・振興を図りました。

ア スポーツ情報HGHの発行

事業団主催事業及び各種スポーツ並びに施設の紹介（毎月発行）

イ スポーツ情報コーナーの設置

各種スポーツ情報の掲示等

（施設内設置、ホームページ、フェイスブック等で年間随時掲載）

『その他の事業』

■ 施設利用者の利便性向上に関する事業（収1）

東広島市文化・学習センターに係る指定管理業務での施設貸与のうち、非公益目的となる施設利用に対して、広く東広島市の教育文化、芸術活動及び地域の振興を目的に、施設利用者の利便性向上を図るために行う利用者支援事業を「その他の事業」として区分して実施しました。

事業報告附属明細書

令和7年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。